

ODAの一環として、モルディブ共和国の航空保安司令部に 業務用デジタル無線システムを納品

株式会社JVCケンウッドは、政府開発援助(以下、「ODA」)の一環として、モルディブ共和国の航空保安司令部（「AVIATION SECURITY COMMAND」、以下「AVSECOM」）に当社製の業務用デジタル無線システムを納品しました。

■ 業務用デジタル無線システム納品の概要

当社は、モルディブ共和国の持続的な経済成長と、さらなる社会経済発展の実現に向けて支援することを目的とした、日本政府によるODA「経済社会開発計画」の一環として、AVSECOMに業務用デジタル無線システムを納品しました。

空港における保安・テロ対策は同国の観光産業の保全のみならず地域の平和と安定にとって重要であり、業務連絡用の無線システムは必要不可欠なものとなっています。今回納品した業務用デジタル無線システムは、基地局無線機 27 セットと携帯用無線機 165 セットで、モルディブ共和国内の 18 か所の空港に配備されます。同国では、これまでアナログ無線システムが使用されてきましたが、今回の当社製デジタル無線システムの導入により秘匿性の高い通信が可能となります。



<AVSECOM に納品した業務用デジタル無線システム>

■ 無線システム事業について

当社における無線システム事業は、長年にわたって培ってきた無線技術と最先端のデジタル/ネットワーク技術を融合した信頼性の高い業務用無線システムを供給しており、世界各国の警察・消防・救急などの公共安全市場や、電気・水道・ガスなどの公共サービス市場、およびホテル・小売業などの民間市場において、高い評価を得ています。

当社は今後も、高品位かつ信頼性の高い業務用デジタル無線システムを提供することにより、世界各国の治安強化や、市民の安全な生活に寄与していきます。また、今後も日本政府が主導するODAなど国内外のさまざまな支援活動に積極的に参画することで、企業価値の向上を図り、持続可能（サステナブル）な社会の発展に貢献していきます。

本資料の内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。